

もむぬぷか

momunupuka

『モムヌプカ』は、アイヌ語で「流域の丘」を意味し
桃生という地名の語源とされています

石巻市立桃生小学校

TEL 76-2242 FAX 76-2432

在籍児童数 70名

令和6年1月9日 第10号



←スマホからも
ご覧になれます

大人は「税」子供は「楽」

校長 今藤良弘

新年おめでとうございます。元日の能登半島地震、二日には羽田の日航機事故、さらには三日には北九州の大規模火災、山手線の切り付け事件と、今年はいったいどんな年になってしまうのかと、心の休む暇もない日々を過ごしました。暖冬のためか気候的には穏やかな正月でしたが、世界ではいまだに戦乱が収束する気配すら見せず、日々尊い命が失われています。テレビでは新年の喜びを色鮮やかに、そして賑やかに演出していましたが、モノトーンで彩られた戦地の様子は、平和な日本とは真逆の苦渋にあふれた世界です。被災地の復興と戦乱の収束を心から望みます。

さて、年末恒例の「今年の漢字」、京都の「日本漢字能力検定協会」が一般公募し、最も多かった字が選ばれるわけですが、去年は「税」だったそうです。増税なのか減税なのか、国民は国の「税論議」に大いに振り回されましたし、商工業に携わる方々は「インボイス制度」導入でもご苦労があったようです。「ふるさと納税」もルールが変わり、より本来の趣旨に近付ける制度となりました。

もう一つ、「小中高生が選ぶ2023年の漢字」というのがあるのをご存じでしょうか。子供向けサイト「ニフティキッズ」を運営するニフティが毎年実施しているもので、こちらは2年連続で「楽」が選ばれました。理由には「コロナウイルスが収まってきていろいろなことを楽しめるようになったから」など、コロナの影響が少なくなりマスク着用の義務がなくなったこと、行事が復活したことや、「とても学校生活が楽しいから」「中学生になり、学校生活がとても楽しくなったから」と、友達と楽しい思い出ができたことを喜ぶ声が聞かれたそうです。

今年も子供たちにとって学校がわくわくするような場所、自分自身をしっかりと高められる場所となるよう努力してまいります。一年間よろしくお祈りします。

1月、こんな子供たちを育てていきます

	よく学びよく考える子 (かしこい子)	思いやりのある子 (やさしい子)	元気ががんばる子 (たくましい子)
生活目標	校舎内では静かに過ごそう		
保健目標	かぜを予防しよう		
給食目標	給食に感謝しよう		

12月のいじめ件数
0件

子供たちの大きなトラブルはなく、他の学年と楽しく一緒に遊ぶ姿も多く見られました。相手のことをよく考えて話したり行動したりする気持ちを更に育てていきたいと思えます。